

富士重工業(株)の損益分岐図(2008年3月期～2013年3月期)

売上高、営業費用(10億円)

横軸は生産台数(万台、2013/3月までは軽自動車も含む)。

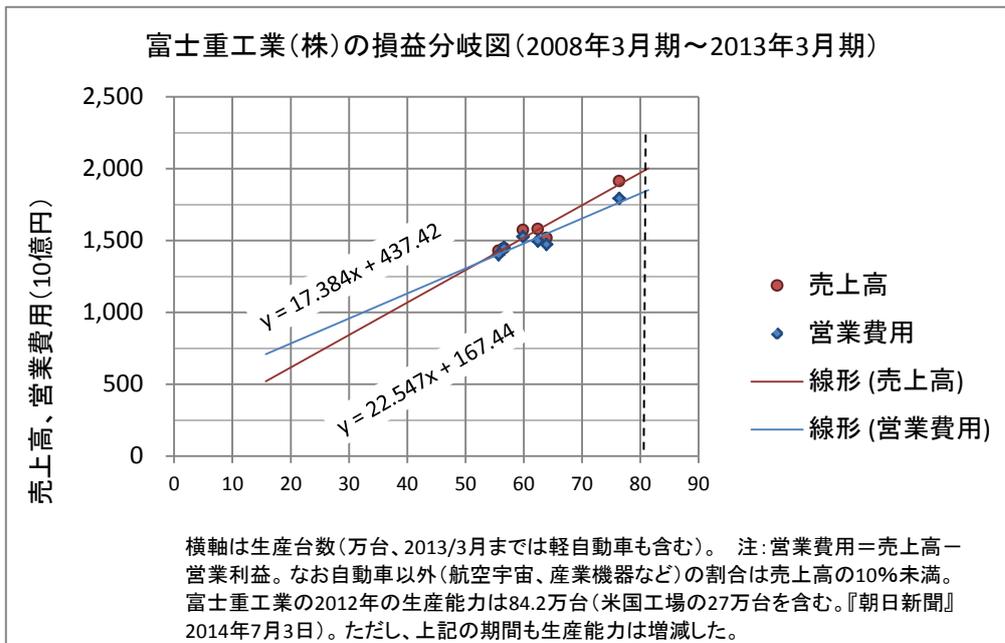
注:営業費用=売上高-営業利益。

なお自動車以外(航空宇宙、産業機器など)の割合は売上高の10%未満。

富士重工業の2012年の生産能力は84.2万台(米国工場の27万台を含む。『朝日新聞』2014年7月3日)。

ただし、上記の期間も生産能力は増減した。

決算期	万台 軽自動車を含む 生産台数	10億円 売上高	10億円 営業利益	10億円 売上高-営業利益 営業費用	営業利益率
2008/3月	59.9	1572.4	45.7	1526.7	2.91%
2009/3月	56.6	1445.8	-5.8	1451.6	-0.40%
2010/3月	55.7	1428.7	27.4	1401.3	1.92%
2011/3月	62.4	1580.6	84.1	1496.5	5.32%
2012/3月	63.9	1517.1	44.0	1473.1	2.90%
2013/3月	76.4	1913.0	120.4	1792.6	6.29%



日本経済新聞 2013年10月23日

富士重の米生産子会社SIAの生産能力は年 **27**万台で、…

朝日新聞 2014年7月3日

2014年中に	2年間の増強	2012年
62.7	5.5	57.2
米国工場		27
		84.2 → 2012生産能力

損益分岐点生産量 = 52.94
 生産能力 = 84.2
 損益分岐点稼働率 = 62.87%